

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市中央老人福祉センター	所在地	中央区大通西19丁目
開設時期	平成元年6月	延床面積	751㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること。		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員の間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者に不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼令和元年度事業計画において、当センターの管理運営に係る基本方針を下記のとおり策定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることができるよう支援する。 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。 7 更なる経費縮減を図る。 <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼基本方針を次のとおり策定した。 「全ての利用者に対して、信条や性別・年齢、あるいは社会的身分等によって、合理的な理由なく利用の制限や利用料金の減免や不当な差別的取扱いをすることなく公平中立に対応する。」 また、平等利用に係る心構え及び重点取組項目を事務室内に掲示するとともに、研修やミーティング等により情報を共有し、関係法令の遵守や利用者の視点に立ったサービスの提供を行った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼センターの運営にあたっては、「環境首都・札幌宣言」を踏まえ、引き続き、温暖化防止等地球規模の環境を保つために定めた「環境保全行動計画」に基づき、「電気・水・紙・燃料の使用量削減」や「ごみ減量とリサイクル」など環境負荷の軽減に向けた取組を実施した。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▼統括責任者として館長を配置するほか、職務代理者としてセンター等での勤務経験が豊富で業務に精通した職員を配置し、適切に対応を行った。 ▼職員配置計画を策定するとともに、外部及び内部職員研修計画を策定し、人材の育成や技術の向上、職員意識の醸成を図っている。</p>	<p>当センターの基本方針及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき、適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>平等性の基本原則に基づいた基本方針や取組項目を策定し、適切な対応ができた。</p> <p>環境保全に関する内部研修を実施するとともに、環境保全点検簿の再検討を行い、施設における職員の意識向上を図ることができた。</p> <p>必要な職員配置を行い、効果的な管理運営を行うことができた。また、職員の資質向上を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>月末に照合すべき受理簿を次月に照合している月があったことについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も法人経理事務マニュアル等に基づき適正な処理に努めてほしい</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼職員会議や日々のミーティングを効率的に実施し、札幌市社会福祉協議会で進めている事業や様々な取組等組織内の情報を一人一人が共有するとともに、定例施設長会議や当法人内のネットワークシステムなどによる情報交換を適時、的確に行い、情報共有に努めた。

ミーティングや職員会議において、職員が参加した会議や外部研修の内容の情報を共有し、管理水準の維持向上を図れた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼清掃業務等を第三者に委託した。仕様書に基づき業務を行わせ、適宜、指示指導を行った。

業務の履行確認を行い、適正な管理を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 令和元年 6月12日 (水)	平成30年度事業実績について 令和元年度事業計画について 意見交換、その他
<協議会メンバー> 中央老人福祉センター利用者3名 中央老人福祉センター教養講座講師 中央区第一地域包括支援センター 中央区西19丁目町内会 副会長 中央区円山児童会館 館長 札幌市長生園園長 札幌市高齢福祉課職員 2名 中央老人福祉センター館長・副館長	
開催回	協議・報告内容
第2回 令和2年 2月13日 (木)	令和元年度事業実績について 令和2年度事業計画(案)について 苦情、要望(報告)、意見交換
<協議会メンバー> 中央老人福祉センター利用者3名 中央老人福祉センター教養講座講師 中央区第一地域包括支援センター 中央区西19丁目町内会 副会長 中央区円山児童会館 館長 札幌市長生園園長 札幌市高齢福祉課職員 2名 中央老人福祉センター館長・副館長	

仕様書に基づき、運営協議会を設置し、年2回開催。施設の現状、活動状況等の報告や事業計画について説明するとともに参加委員から意見・質問を受けており、今後の施設運営の参考とした。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、「社会福祉法人会計基準」により資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定められており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行っている。また、定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を実施している。</p> <p>▼現金等の取扱については、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、現金実査、月末残高照合を実施するとともに、館長が定期的及び抜きうちで現金実査を行った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼「苦情解決処理規程」に基づき、苦情を適切に受付・対応するとともに、苦情内容については内部の情報共有化を図ることとしている。</p> <p>▼ご意見箱の設置や職員館内見回り等によって、要望・苦情を聴取し、即時対応を行った。</p> <p>▼当法人として苦情解決における社会性や客観性を確保するとともに、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため第三者委員を設置している。</p> <p>▼老人福祉センターカラオケ利用者意見交換会を開催し、利用者からの意見の収集に努めた。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼老人福祉センター及びデイサービス利用者アンケートを実施し、満足度及び意見・要望等を把握した。アンケート結果は館内に掲示した。</p> <p>▼意見、要望等は記録として残し、職員会議等の中で整理・分析し、実行可能なもの、見直しが必要なものについて検討した。</p> <p>▼記録・報告については定められた基準に基づき、作成・報告を行った。</p> <p>▼札幌市の実地調査の結果、指摘事項があったことから、速やかにその改善に取り組んだ。</p>	<p>「経理規程」に基づき、経理事務の外部監査、内部監査、現金実査、月末残高照合を実施し、適正に管理することができた。</p> <p>要望、苦情等については、常に丁寧な対応を心掛けるとともに、実施可能なものについては、迅速かつ適切に対応した。</p> <p>・アンケート結果及び回答を館内に掲示した。また、記録については適正に作成し、期日までに報告した。</p> <p>・実地調査の指摘事項については、すでに改善しているが、今後は適正な事務処理に努めたい。</p>	
--	--	--	--

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設で働く職員に対して、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼必要条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて社会保険に適切に加入させた。 ▼1年に1回定期健康診断を実施した。 ▼年間10日以上有給休暇を付与される職員へは5日間以上の取得を促進した。 	<p>関係法令の遵守はもちろん、勤務割や年次有給休暇取得に配慮する等、就業しやすい環境づくりに努めた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">法令を遵守し、職員の労働環境について配慮した運営を行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、職員の労働環境について配慮した運営を行っている。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、職員の労働環境について配慮した運営を行っている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼利用者の安全確保について、事故の未然防止のため、開・閉館時の館内点検において各機器の動作状況や備品の状況等を確認している。 ▼「感染症ガイドライン」に基づきインフルエンザ、ノロウイルス等の感染防止対策を図っている。 ▼入浴時における浴槽水の湯温管理を実施し、適温確認を実施するとともに、適切な入浴方法についての掲示を行い、利用者の安全を確保した。 ▼利用者から施設・機器の使用上の要望等を聴きとり、改善してサービス向上に努めている。 ▼非常時等の職員連絡体制を確立して、迅速に行動するよう努めている。 ▼仕様書に基づいた施設賠償保険に加入している。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼札幌市の要求水準に沿った清掃業務仕様書を作成し、施設の衛生かつ快適な環境を保持するため日常清掃及び定期清掃を実施した。 ▼備品台帳を備え、適正かつ効率的な備品管理を行った。 ▼常に設備の破損、故障等が生じないように館内の点検を励行した。 ▼警備、保守点検、駐車場管理、緑地管理については、札幌市社会福祉総合センターの指定管理者が実施した。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼札幌市社会福祉総合センターの他入居団体と合同にて避難訓練を実施している。なお、例年2回実施しているが、新型コロナウイルスの影響により、今年度2回目の訓練は机上実施とした。 ▼当法人が定める「札幌市老人福祉センター防火管理規程」「施設福祉部防災マニュアル」「非常体制図」に基づき、利用者、職員の安全確保を図っている。 	<p>・施設点検を毎日行うとともに、必要な非常災害時における避難訓練を実施し、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>・感染症蔓延時期に利用者への啓発や館内消毒を行うなど衛生管理を徹底した。</p> <p>仕様書に基づき、適切に管理することができた。</p> <p>・他団体と連携、協力をし、札幌市社会福祉総合センター全体で自衛消防訓練を実施し、利用者の安全確保を図った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">C</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">屋内非常階段へつながる廊下に備品が置かれ避難誘導動線の確保がなされていないことについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	屋内非常階段へつながる廊下に備品が置かれ避難誘導動線の確保がなされていないことについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。			
A	B	C	D								
屋内非常階段へつながる廊下に備品が置かれ避難誘導動線の確保がなされていないことについて、実地調査において改善指導を行ったところ、速やかに改善された。今後も利用者の安全確保に努めてほしい。											

(4)事業の計画・実施業務			A B C D
		<p>▽ 生活相談に関する業務</p> <p>▼専門家等相談事業開催回数:39回 (うち参加者が15人以上であった回数:3回) (要求水準:年4回以上開催・参加者15人以上)</p> <p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼講演・運動等事業開催回数:74回 (うち参加者が20人以上であった回数:39回) (要求水準:年30回以上開催・参加者20人以上)</p> <p>▽ 浴室業務</p> <p>▼利用者数:4,270人(前年度3,506人)</p> <p>※目標値(館設定) 4,680人 ※令和2年3月2日～令和3年3月31日まで新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い、入浴中止。</p> <p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼月2回以上開催する健康増進に関する講座:10種類実施 ▼月2回以上開催する教養向上に関する講座:11種類実施 ▼講座毎の定員申込率:全講座で70%以上の申込あり (要求水準:月2回以上開催する健康増進及び教養講座に関する講座を各4種類以上、定員申込率70%以上)</p> <p>▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務</p> <p>▼実施内容 6月18日 シルバー健康フェスタ 6月22日 クリーンアップ登山 8月7日 地域ふれあい盆踊り 10月23日～25日 文化祭作品展覧会 12月24日 クリスマスダンスパーティー 12月26日 年忘れオカリナコンサート 1月8日 新春カルタ大会 9月9日、9月24日、9月25日、1月14日、1月29日、1月30日 演芸大会 9月13日、1月22日 囲碁大会 2月3日 豆まき大会 ※9月18日に日帰りバスレクを予定していたが、施設設備故障のため中止となる。(ふとみ温泉) ▼定員を設けているもののうち、定員の70%以上の申込みがあったもの:日帰りバスレクは募集を行ったが中止。</p> <p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <p>▼教養講座の修了生による各種サークル活動に対して、空き室の利用提供や活動の支援を図った。 ▼地域住民・老人福祉センター利用者が自主的に立ち上げたサークルに対して、空き室を開放することにより活動を支援した。</p>	<p>事業の開催回数を大幅に増加したが、それに伴う参加人数の分散が見られた。</p> <p>要求水準を達成することができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い、目標値には若干届かなかったが、前年度利用者数は上回ることができた。</p> <p>利用者ニーズを反映した講座を開催し、開催種類、申込率ともに要求水準を上回ることができた。</p> <p>・囲碁、将棋、オセロ、卓球、サークル活動等の日常的なレクリエーションに加え、季節感のある四季折々の行事や地域との協働行事、地域開放行事を行い、適切なサービスを提供できた。</p> <p>教養講座修了生や老人福祉センター利用者が立ち上げたサークルに空き室を解放し、有効に活用できた。</p>

	<p>▽ 老人デイサービス事業に関する業務</p> <p>利用者数:目標21.0人/日、実績人18.5人/日</p> <p>▼在宅の要支援・要介護高齢者に、通所による各種サービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身の機能向上などを図るとともに、家族の身体的、精神的な負担の軽減を図った。</p> <p>▼給食サービス、入浴サービス、生活指導(相談援助など)、機能訓練(日常動作訓練)、介護サービス(移動や排泄の介助、見守り)、健康状態の確認、送迎などを行った。</p> <p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <p>▼実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文集「輝き」の発行:利用者からの投稿による作品 ・海外視察の受入:韓国2回35名、タイ2回61名 ・交通安全街頭啓発:円山まちづくりセンターと協働で実施 ・らくらくスマートフォン教室:使い方教室 ・高齢者のための住宅相談:住宅についての相談 ・基石洗浄 ・マジック披露:老人福祉センター利用者によるマジックショー <p>▼地域住民との世代間交流を目的に児童会館と協働で「ふれあい盆踊り大会」を実施した。(レクリエーションにも記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の状況を把握し、ケアプランに基づき、適切にサービスを提供した。 ・各種サービスを安全・安心に提供し、事故なく業務を遂行できた。 ・新型コロナウイルスの影響により、利用控え等が多くあり、目標を達成できなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズのあった「らくらくスマートフォン教室」が大変好評であった。今後もニーズの把握に努め、利用者増を図りたい。 ・地域協働行事を実施し、地域住民や児童会館の子供たちと世代間交流を行うことができた。 	
--	---	--	--

<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="383 197 978 324"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30年度実績</th> <th>R元年度計画</th> <th>R元年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>48,848</td> <td>61,000</td> <td>48,722</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>3,506</td> <td>4,680</td> <td>4,270</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認 0件、 取消し 0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼「広報さっぽろ」に教養講座の募集の案内を掲載した。</p> <p>▼中央区民センター、福祉のまち推進センター、中央区社会福祉協議会、まちづくりセンター3ヶ所に「センターだより」を配架した。</p> <p>▼情報をホームページに掲載した。</p>			H30年度実績	R元年度計画	R元年度実績	全体	人数(人)	48,848	61,000	48,722	浴室	人数(人)	3,506	4,680	4,270	<p>新型コロナウイルスの影響もあったが、全体の利用人数、浴室利用者数については計画を下回った。多くの利用者にご利用頂けるよう、魅力ある施設づくりを検討していきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス影響により利用者数は減少したが、各種PRを行い、利用促進に努めている。今後も効果的な取組を継続し、利用者の確保につなげてほしい。</p>	A	B	C	D				
		H30年度実績	R元年度計画	R元年度実績																						
全体	人数(人)	48,848	61,000	48,722																						
浴室	人数(人)	3,506	4,680	4,270																						
A	B	C	D																							
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ホームページの内容の充実を図るとともに、タイムリーな情報を提供した。</p> <p>▼中央区民センター、福祉のまち推進センター、中央区社会福祉協議会、まちづくりセンター3ヶ所に「センターだより」を配架した。</p> <p>▼地域の会議などに参加し、施設内容の紹介及び介護予防の拠点としてのPRを実施した。</p> <p>▼令和元年度ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を公開した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>ホームページの活用やセンター便りの配架、各種会議でのPRなど積極的に広報を行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積極的な広報業務を実施している。また、ウェブアクセシビリティについて、仕様書に則り適切に取り組んでいる。</p>	A	B	C	D																			
A	B	C	D																							
<p>2 自主事業その他</p>																										
<p>▽ 自主事業 なし</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼清掃業務については「札幌市母子寡婦福祉連合会」に委託した。</p> <p>▼修繕や物品購入にあたっては極力市内業者へ依頼した。</p> <p>▼障がい者団体によるパンの販売を週1回支援し、利用者の利便向上にも寄与した。</p>	<p>物品の発注や修繕は市内企業を積極的に活用し、パンの販売については、障がい者団体の活動支援を行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>市内企業や障がい者団体等に積極的に業務を依頼しており、評価できる。</p>	A	B	C	D																				
A	B	C	D																							

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間:令和2年2月3日～2月17日(15日間) ・対象者:期間中の当センター利用者 ・アンケート回収数:305枚(目標値280枚以上) ・デイサービスセンター回収数:59枚(目標値53枚以上) ・デイサービスセンター家族:26枚
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な満足度:目標:67%、結果:73.84% ・職員の接遇に関する満足度:目標:72%、結果:80.46% ・専門家相談に関する満足度:目標:80%、結果:83.06% ・講演・運動等事業に関する満足度:目標:80.0%、結果:80.0% ・教養講座に関する満足度:目標:80.0%、結果:91.29% ・レクリエーション・各種行事に関する満足度:目標:80.0%、結果:90% ・通所介護等に関する満足度:目標:80.0%、結果:91.53% ・通所介護等接遇に関する満足度:目標:80.0%、結果:93.22% ・通所介護等に関する満足度(家族):結果:92.31%
利用者からの意見・要望とその対応	施設内が寒い、テーブルや健康器具を増やしてほしい等のハード面での要望が散見された。今後も経費との兼ね合いで優先順位を検討するとともに実現が困難なものについては、ご理解いただくよう周知した。

利用者満足度は、すべての項目において目標を達成することができた。

A	B	C	D
全ての項目で満足度が目標値を上回っており、利用者のニーズに即した事業展開ができたことが認められる。今後も更なる満足度の向上を目指し、ニーズ把握等に努めてほしい。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R元年度計画	R元年度決算	差(決算-計画)
収入	85,493	80,903	▲ 4,590
指定管理業務収入	85,493	80,903	▲ 4,590
指定管理費	37,730	37,730	0
利用料金	46,059	41,097	▲ 4,962
その他	1,704	2,076	372
自主事業収入	0	0	0
支出	84,663	79,763	▲ 4,900
指定管理業務支出	84,663	79,763	▲ 4,900
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	830	1,140	310
利益還元	0	0	0
法人税等	830	1,140	310
純利益	0	0	0

利用料金収入が減収となったため支出を抑制し、収支のバランスをとるよう努めた。

A	B	C	D
新型コロナウイルスの影響による休館やデイサービス利用者の減により収入が減少したが、収支のバランスを図り運営することができている。			

▽ 説明

- ▼利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館等の影響により、計画より4,962千円の減となった。
- ▼指定管理業務支出は、収入の減に伴い光熱水費支出を抑制したため、計画より4,900千円の減となった。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		適	不適
<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業の財務状況について、収入は指定管理費、通所介護事業の介護保険収入等がある。支出の抑制を図りながら、収支のバランスを図るように努めている。 			
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、該当年度も昨年度に引き続き、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。 			

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>事業計画書に沿った事業を展開し、概ね計画どおり遂行することができた。指定管理施設としての役割が増加している中で、いかに利用者の声を反映した事業展開ができるかを念頭に様々な事業に取り組んだ。前年度に引き続き、高齢者に対する支援や介護予防等に関係する事業、行事等も積極的に取り入れ、関連機関や市民の皆さんへの老人福祉センターの認知度を高め、地域の中に根付いた施設として有効に活用してもらうことができた。</p> <p>また、年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大、流行による影響から、事業の展開について十分な対策をとったうえで実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の拡大抑制に十分留意しながら、新しい生活スタイルを踏まえ、その中で効率的な施設運営を図るとともに、施設運営上の課題でもある利用人数の拡大についても検討し、市民から信頼される施設を目指す。 ・職員同士の連携や自己研鑽の機会を増やすことで職員の資質向上を図り、利用者や家族が安心して利用しやすい、施設を目指す。 ・潜在的な要介護者が多く集まる老人福祉センターの特性を生かし、地域包括支援センターや介護予防センターとの連携を図り、要介護者増の抑制の一端を担える施設を目指す。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の目的に沿って、適切な運営管理を行っている。特に、利用者満足度において全ての項目で目標を達成したことは、利用者のニーズを捉えた事業を実施できたものと評価できる。今後も、利用者のニーズや地域の課題等についてよりの確に把握し、より一層、高齢者の福祉の増進を図る事業展開を実施することを期待する。</p> <p>今後は、新型コロナウイルスの影響が継続する可能性があることから、感染対策を十分に講じ、利用者の安全を確保した事業展開を行っていただきたい。</p>	<p>月末に照合すべき受理簿を次月に照合している月があったこと及び屋内非常階段へつながる廊下に備品が置かれ避難誘導動線の確保がなされていないことについて、改善指導を行ったところ、速やかに改善された。</p>